

2022年6月30日

住友生命保険相互会社

ヌビーンが運用する農地戦略ファンドへの投資について ～新たな運用手段として農地および森林戦略ファンドへの投資を開始～

住友生命保険相互会社(取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」)は、Nuveen Natural Capital 社(以下「NCC 社」)が運用する農地戦略ファンド「Nuveen Global Farmland Fund Lux SCSp」(以下「本ファンド」)への投資(約 65 億円)を決定しました。本件は住友生命初の農地戦略ファンドへの投資となります。

本ファンドは、約 78 億ドルの資産規模を有し、合計 200 万エーカー超の農地へ投資を行っている世界最大の農地運用会社 NCC 社によって運用されており、米国を中心としてグローバルに分散された農地および関連事業への投資を目的とするファンドです。



© Nuveen

農地資産への投資は、農地のリース運営や農作物の売却等に伴う安定したリターンの獲得や、他資産との相関の低さから分散効果等が期待できます。また、社会課題の解決に向けては、食糧の安定供給に留まらず、土壌の健全性の確保や水資源の効率的な使用等、持続可能な農業の推進を通じ、環境問題や生態系保護等への対応にも貢献すると考えています。

住友生命は、運用収益力の向上に加え、SDGs 達成に一層貢献していく観点から、新たな運用手段として農地および森林戦略ファンドへの取組みを開始し、住友生命初の案件として本ファンドへの投資を決定しました。今後、2022 年度からの 3 年間で最大 300 億円の投資を目指します。

【本ファンドの概要】

運用会社	Nuveen Natural Capital
ファンド名称	Nuveen Global Farmland Fund Lux SCSp
投資金額	約 65 億円

住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けて取組みを進めています。今後も責任投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益力の向上に取り組んでいきます。

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



以上